



▲ミラノで播磨町をPR

残暑中お見舞い申し上げます。播磨町の夏の風物詩である「干しだこ」が、今年も古宮の浜辺を彩りました。タコ飯はいかがでしょうか。◆7月に兵庫県町村会より派遣されて「海外行政調査」に行かせていただきました。パリでは兵庫県井戸知事とセヌ・エ・マルヌ県との共同声明の調印式が行われ、それに立会人として同席しました。兵庫県パリ事務所では水墨画の作品展開催セレモニーや、外国人記者クラブで行われた観光プロモーションにも出席しました。また、ミラノでは現在、食をテーマとした「ミラノ万博」が開催されています。猛暑の万博会場でしたが、日本館は人気が高く、入場待ちの長い列が続いていました。日本館の会場に一步入ると、素晴らしい映像と音響に包まれ、その中で入場者に降り注ぐ日本の四季折々の風景は、幻想的なまでに美しいものでした。参加者たちは会場全体を包むまばゆいばかりのパフォーマンスの中で、テーブルに映し出される懐石料理をそれぞれ箸で疑似体験し、日本食への理解を深めていました。また、日本館のイベント会場では「兵庫ウィーク」が開催され、兵庫各地の観光や特産品などがPRされました。私は、ミラノ市内のピレリ会場で開催されたイベントにおいて、パワーポイントで映像を映しながら、イタリア語で通訳していただき、播磨町と近隣市町のPRをしてまいりました。外国で播磨町の紹介をする機会をいただいたことは、仕事人生の中で忘れぬ出来事となりました。今回の目的は知事や各団とともに、兵庫の魅力を発信しプロモーションすることでしたが、改めて播磨町、兵庫県を含めて日本という国の素晴らしさを再認識し、世界に広がる大きな可能性を感じた行政調査でありました。今後の国際交流やまちづくりに生かしていきたいと思っています。

播磨町長 清水ひろ子

サマーフェスティバル2015が盛大に行われました

スポーツクラブ21はりま ☎079(437)2201



▲ボルタリングは大人気で

7月25日、天候が心配されましたが朝から申し分ないほどの夏日となり、「2015播磨町サマーフェスティバル」が開催されました。午後3時の開始時刻から、元気な子どもたちが自由広場に設けられた縁日コーナーやビーサンとばしなどのゲームなどで遊ぶ姿が見られました。日が暮れる時間になると、浴衣姿で訪れる人も増え、模擬店に並んでおいしいものをほお張ったり、総踊りの輪に加わったりして、思いおもしろいサマーフェスティバルを楽しんでいました。

夏休み子どもチャレンジ教室を実施

スポーツクラブ21はりま ☎079(437)2201

7月28日と29日の2日間にわたり、播磨町と朝来市の小学生が交流し色々な体験をする、夏休み子どもチャレンジ教室が実施されました。



▲ジップスライドの体験中

1日目の朝来市では、アマゴのつかみ取りやジップスライドなどを体験して楽しんでいました。アマゴは塩焼きにして食べ、ジップスライドでは勇気をだして、滑り降りていました。

2日目には、高砂市にある醤油工場や、県立考古博物館などの施設を見学し、ミニ講座や物づくりなどを行いました。

子どもたちは2日間で、一回り大きくなったように感じました。

楽屋裏

9月放送のBAN-BANネットワークの行政広報番組「東播磨ふれあいネット」で、播磨町からのお知らせとして地域包括支援センターをご紹介しました。介護が必要になったら相談に行く窓口と知る人は多いのですが、介護予防事業にも力を入れて取り組んでいます。私は今回の番組づくりを通じて、物忘れと認知症はどう違うのか、認知症は早期発見すれば進行を遅らせることや、治療で改善させることができる場合があると初めて知りました。詳しくは、番組をご覧ください。番組放送時間表は、16ページに掲載しています。(宮)

土のう作成及び水防工法訓練を実施しました

危機管理グループ ☎079(435)0991



7月11日に自主防災組織と消防団合同で、本格的な台風シーズンに備え、土のう作成及び水防工法訓練を実施しました。

▲効果的な積み方を学びました 加古川市消防本部東消防署播磨分署員の指導のもと、67人が参加して土のうの作り方や積み方について映像などで研修を受けた後に、実践しました。

防災キャンプで 阪神・淡路大震災の被災体験を伺いました

生涯学習グループ ☎079(435)0565

災害時にどのように行動したらいいのかを、体験しながら考える防災キャンプが催されました。

避難所生活を想像しながら中央公民館のホールでビニールシートの上で一泊をしたり、日本赤十字奉仕団の協力でアルファ米とけんちん汁の非常食で夕食をとるなど、快適な自宅を離れて貴重な体験をしました。

今年は初めてのプログラムとして、冒頭に「野島断層からのメッセージ～震災といのち・人とのつながり～」と題して、米山正行さん(北淡震災記念公園副館長)から震災時の様子と人と人のつながりの大切



▲神戸の当時の映像に見入る子どもたち

さについてのお話を伺いました。すぐ近くにある知っている町の当時の様子を子どもたちは真剣な表情で聞いていました。



▲熱湯を注いで作るアルファ米の夕飯

中央公民館七夕まつり

中央公民館 ☎079(437)6980

7月12日、中央公民館恒例の七夕まつりを開催しました。朝から天気も良く、子どもから大人まで約400人でにぎわいました。



7月6日からロビーに置いていた笹は、来館者が願いごとを書いた短冊でいっぱいになっていました。オープニングに、七夕の歌を歌い、

その後、ヨーヨーつり、スーパーボールすくい、輪投げ、魚つり、お菓子引き、折り紙、うちわ作り、紙芝居の各コーナーに分かれ楽しみました。たくさんの笑顔があふれ、楽しい時間が流れました。

中央公民館では、これからも季節の行事を伝えていきたいと思っています。

わんぱくはりまっこ



古谷 陽くん、ひかる 光くん (西野添)

いつまでも仲の良い兄弟でいてね。(とつと・おんまより)

※撮影時の年齢です。